

情 報 公 開 文 書

研究の名称	日本における大腿骨近位部骨折の適正治療を目指したグローバルデータベースの作成
受付番号	329
研究機関の名称	富山赤十字病院
研究責任者	富山赤十字病院 第2整形外科部長 橋本 浩
研究の概要	<p>【研究対象者】 富山赤十字病院に受診または50歳以上の大腿骨近位部骨折患者。</p> <p>【研究の目的】 大腿骨近位部骨折は脆弱性骨折の終着駅とも言われ、高齢化の進行する世界的な規模での対策が求められています。Fragility fracture network (FFN) では活動の1つとして大腿骨近位部骨折治療のガイドラインと Audit に基づいたデータベースを作製し、大腿骨近位部骨折治療の改善、進歩への改革を実施しています。</p> <p>FFN-Japan (FFNの日本国内組織) では国際比較を念頭に置いて、FFN共通の Minimum Common Dataset を用いたデータベースを作製して、病院間、地域性、さらに国際的な比較を行い、我が国の治療の特色や課題について検討します。</p> <p>その結果に基づいてガイドラインを反映させた Audit system を提案します。経時的なプロジェクトとして大腿骨近位部骨折の適正治療、二次骨折予防の徹底を実現し、海外での実施モデルを参考にして国家的に診療報酬に反映されることで脆弱性骨折の減少を目指します。</p> <p>【研究方法】 診療情報を用いた後方視的研究。 個人を識別できる情報(氏名、住所、生年月日等)を削除し独自の符号を付し、プライバシーの保護には細心の注意を払います。</p> <p>【研究期間】 2017年4月1日から2024年3月31日</p> <p>【研究結果の公表の方法】 学会等での発表。</p>
研究に用いる試料・情報の項目と利用方法	50歳以上の大腿骨近位部骨折患者
試料・情報の管理責任者	富山赤十字病院 第2整形外科部長 橋本 浩
研究対象者、親族等関係者からの相談等への対応窓口	<p>研究対象者からの除外(試料・情報の利用または他機関への提供の停止を含む)を希望する場合の申し出、研究資料の開示希望および個人情報の取り扱いに関する相談等について下記の窓口で対応いたします。</p> <p>担当者 富山赤十字病院 第2整形外科部長 橋本 浩 電話番号 076-433-2222 受付時間 平日 14時～16時</p>